

第65回 持続可能な社会に向けて 県自治研 住み続けたい地域つくる努力を



第574号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の購読料は組合員
のなかに含まれています)

日程

- 【12月】
- 1 四国ブロック共済学校 (高知)
- 4 県公務員共闘定期総会
- 7 県本部拡大執行委員会 青年部ドキジャム (西予～8)
- 自治労連国民春闘討論集 会 (web)
- 11 非正規公務員の公募問題を考えるオンライン学習会
- 14 自治労連組織集會 (兵庫～15)
- 新居浜市職婦人部愛彩会
- 【1月】
- 10 新春合同旗びらき (松山)
- 13 学校図書館・公共図書館の充実を求めるつどい
- 18 県本部拡大執行委員会 県本部組織集會 (横浜～25)
- 24 自治労連本部中央委員会 (松山)
- 25 愛媛労連中央委員会 (松山)
- 【2月】
- 8 県本部中央委員会 県本部労安学習会



■11月24日、新居浜市で開催した「第65回地方自治研究愛媛県集會」に89人(自治労連17組織75人、研究者・他団体14人)が参加。◎『気候危機』の影響が迫ることで『安心して生活でき、住み続けたいと思える』地域を、◎『自治体の役割・仕事』を考えあひ、『やりがいを感じて働き続けたいと思える』職場を、のテーマで学習・討論しました。

■午前中『分科会』では、①持続可能なまちづくり、②持続可能な社会と環境、③医療介護、④保育、⑤青年講座を開催。①まちづくり分科会では、3つの事例報告と助言者報告を行い、意見交換で、産業振興、人口減少や少子高齢化に対抗できる自治体ごとの事例の報告などが行われました。

■午後『全体会』では最初に、堀川県本部書記次長が「基調報告」。次に、『持続可能な社会のため』と題して、コーディネーターの村田武先生(愛媛食健康会会長・元愛媛大学教授)と越智雅弘さん(新居浜市職労委員長、西坂元毅さん(今治市役所職員)、平野啓三さん(県中小企業家同友会)のシンポジウム3氏とのシンポジウムを開催しました。

■シンポジウムでは、村田先生をはじめに「持続可能な社会」住み続けたいと思える地域と位置付けたい」とし、テーマに沿って3氏が発言。

■越智さんは「脱炭素社会に向けた自治体の取組」



■西坂さんは「安全・安心で人と地域と世代をつなぐ『バリクリン』」として、今治市クリーンセンターについて説明。新施設が必要になった際に、演題のようなクリーンセンター

■平野さんは「FEC自治体の事例」

■越智さんは「脱炭素社会に向けた自治体の取組」

■西坂さんは「安全・安心で人と地域と世代をつなぐ『バリクリン』」として、今治市クリーンセンターについて説明。新施設が必要になった際に、演題のようなクリーンセンター

■西坂さんは「安全・安心で人と地域と世代をつなぐ『バリクリン』」として、今治市クリーンセンターについて説明。新施設が必要になった際に、演題のようなクリーンセンター

■平野さんは「FEC自治体の事例」

■越智さんは「脱炭素社会に向けた自治体の取組」

■西坂さんは「安全・安心で人と地域と世代をつなぐ『バリクリン』」として、今治市クリーンセンターについて説明。新施設が必要になった際に、演題のようなクリーンセンター



■越智さんは「脱炭素社会に向けた自治体の取組」

■西坂さんは「安全・安心で人と地域と世代をつなぐ『バリクリン』」として、今治市クリーンセンターについて説明。新施設が必要になった際に、演題のようなクリーンセンター

■平野さんは「FEC自治体の事例」

■越智さんは「脱炭素社会に向けた自治体の取組」

■西坂さんは「安全・安心で人と地域と世代をつなぐ『バリクリン』」として、今治市クリーンセンターについて説明。新施設が必要になった際に、演題のようなクリーンセンター

■平野さんは「FEC自治体の事例」

■越智さんは「脱炭素社会に向けた自治体の取組」

■西坂さんは「安全・安心で人と地域と世代をつなぐ『バリクリン』」として、今治市クリーンセンターについて説明。新施設が必要になった際に、演題のようなクリーンセンター

【保育部会】 県子育て支援課へ、子どものための 保育充実求める「要請と懇談」実施

県本部保育部会は11月7日、県子育て支援課へ要請・懇談を行い3単組6人が参加。県子育て支援課は主幹ら3人が対応。はじめに県支援課が「県として人口減少で子どもが減るなかでも現場は大変と声を聞いている。人手不足はどのも同じ。子どもの負担軽減は課題と考える」と話した。以下、県支援課の「回答・見解」一部抜粋、文責：県本部

①処遇改善・賃上げ：処遇改善事業は民間に対する財政負担が大きい。県の財政を軽減している。交付税措置はされており、処遇改善は自治体の判断になる。

②労働時間の管理・徹底：基本的には各市町の人事管理の中で措置されるもの。

③負担軽減：保育士の負担軽減をはかっている。保育士自身の負担軽減のため保育支援者等、事業も活用を。監査は年度当初に各地方局で監査内容を検討し実施しており、書類も必要最小限の書類で、新たに作成を依頼するものではない。国はDXを進めており、10月に国の仕様が示された。県として社会保障の改善に係る提言を行い、国の仕様に要望が含まれた。

④保育料等無償化：給食等無償化は県内自治体でも10市町程度は副食の無償化にとりくんでいる。保育料は国が無償化しており、給食費の一律措置は県では考えていない。

⑤保育士配置基準改善：従来から全国知事会を通じて要望し、今年4月に改善された。着実な実施と配置が必要で財政負担を国が行うよう知事会を通じて要望していく。県独自の配置基準、市町への財政支援等はないが、積極的にとりくむことを主旨としてUIJターン保育士に引越費用を支援している。国の負担軽減、保育士負担軽減、子ども誰でも通園制度もあり、そこを考えると保育士確保は必要で、補正予算を提案し執行を進めている。

⑥安全計画・災害対応等：「保育所等における安全計画」の策定が義務付けられ、地方局の監査で策定状況を確認し、助言を行っている。マニュアル等の具体例は義務付けにともない、子ども家庭庁からの通知で示されている。各園が個別・具体的事例を判断し作成されるもの。25年度まで総務省の緊急防災減災事業債に100%充当でき、地方交付税措置も70%があり、活用できる可能性もある。防災のとりくみを進めていただけると考えている。

◎県の「回答・見解」を受けて、保育士から各項目について再質問し、現場の状況と要望を伝えました。

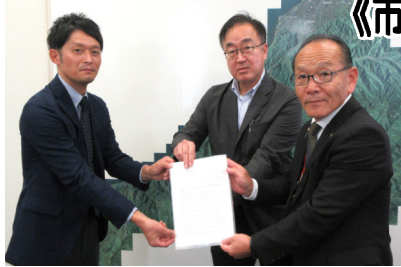


《中央行動》 公務サービス拡充・人員増！ 総務省要請、保険証残せアピール



11月7日、自治労連「総務省前要求行動」に全国から参加の自治労連の仲間と公務労組の仲間が参加し、公務公共サービスの拡充、会計年度任用職員の処遇改善、増員などを訴えました(愛媛2人参加)。総務省に対し「ほこいか署名」「緊急団体署名」「現業署名」を提出し要請行動を行いました。続いて13時から日比谷野外音楽堂での「マイナ保険証の押し付け反対!保険証を残せ!11・7大集会」に参加。医療や介護関係の団体、市民などのべ2300人が参加。集会後、通行する人に向けて「保健所残そう!」などのシュプレヒコールと「銀座パレード」を行いました。

《市長会長要請》 職場状況を伝え「技術職確保など 市長会で取り上げたい」と返答



県本部市職評議会は11月8日、県市長会長の武智伊予市長へ「要求書」を提出。県本部と5市職単組9人が参加。市長会から武智市長会長(伊予市長)と事務局長、伊予市総務部長ら3人が対応。森賀県本部委員長が「県本部長秋統一要求書」の主旨を説明し、各市職から重点課題について発言。武智市長から「要請内容は基本的にはおっしゃる通りと思う」「カスハラは市として組織で守らな」と思っている。などの発言がありました。県本部からの『地方財政での国への要望』『公務の技術職確保』の要望に、武智市長から「重要な要望なので内容を文書で出してほしい」との話があり、後日文書を提出しました。

【伊予市】 予 青年部ハロウィン企画開催 伊メッセージ付お菓子を配る

伊予市職労青年部は10月31日「ハロウィン企画」を開催。青年部員・新規採用職員を含む61人に、ハロウィンの装飾を施したお菓子とメッセージカードを渡しました。本庁では「今日はもう帰れよう」「この時期は結構忙しいですか?」など、声掛けをしながら渡して回りました。お菓子には、秋



《今治水道》 人員確保・より良い職場環境へ みんなが加入し支える組合を



今治水道労組は11月15日「第73回定期大会」を開催し、組合員14人十來賓3人が参加。河上委員長の「水道は市民のライフラインで、蛇口から水が出るのは当たり前。職場では技術職確保・技術継承が困難になっているが、より良い職場環境へ活動をすすめた」と開

【西予市】 予 4回目の議員懇談会。「職員の不安不信、現場の状況」を伝える



西予市職労は11月21日、病院介護施設民営化について4回目の「議員懇談会」を開催し組合役員・組合員15人、議員16人(全18人)が参加。福島医療介護支部長が「不安・不信が募っている職員の声を聞いてほしい」とあいさつし、源正樹議員(指定管理導入に関する特別委員会・委員長)が発言もありました。

【新居浜】 青年部「広島酒造巡りバスツアー」 世代を問わず交流し親睦深まる

新居浜市職労は11月3日、青年部企画として、広島県東広島市の西条にある酒蔵を巡る「東広島酒蔵巡りバスツアー」を開催。まち散策や日本酒の試飲をし、世代を問わず交流でき、普段の生活や職場では体験できない



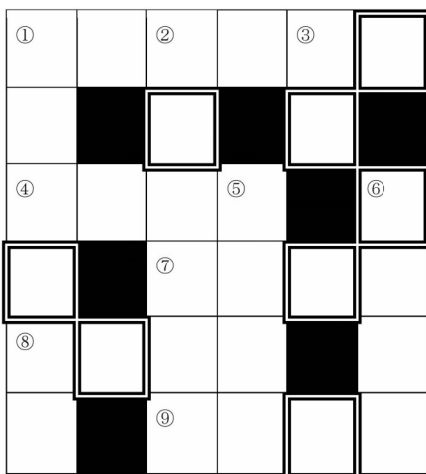
マス目を埋め、二重枠の8文字でみんなで決定…の四字熟語にして下さい。

【ヨコのカギ】

- ① 四国中央市にある山。東に豊受山
- ④ 理工系の分野を学ぶ女子学生の略語
- ⑦ 脊柱のうち、胸椎と仙椎との間にある5個の椎骨
- ⑧ インフルエンザ〇〇〇〇、コロナ〇〇〇〇
- ⑨ 山野に生え、イチゴ状の果実をつけるものの総称

【タテのカギ】

- ① 手荒く治療すること
- ② (伊語) おはよう。こんにちは
- ③ やじること。〇〇をとばす
- ⑤ 飲料・灌漑・工業・消火などに使用する水
- ⑥ 初めての孫、はつまご



出題者 堀川孝行

■572号のパズルの答えは「ツキトスツボン」(月とすつぽん)でした。正解は11通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

大西 梨央(新居浜) 岡原 博士(津島吉田) 小倉さやか(新居浜) 吉田 周平(新居浜) 筒井芙美香(新居浜)

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。 【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載 【締切り】12月27日【発表】576号(1月号)

おたより ありがとう

■急に寒くなつて、温かいものが食べたくなり、お休みにおでんを準備しました。家族団らん、美味しくいただきました。すっかり食べて免疫機能向上で風邪対策もできました。(新居浜・永易)

■11月は170年の歴史を誇る、地域の大切な伝統行事でもある「乙亥大相撲」の開催にあたり、2日間、駐車場整備がなされます(笑) (西予・芝)

■久しぶりに選挙事務に従事しました。当市は1週おきに2回実施。従事された皆様お疲れ様でした。(新居浜・久葉)

■子どもの影響で、スイ

■広報誌を初めてじっくりと読みました。昨今の様々な社会情勢の変化において、私自身も組合活動等にも興味を持つていきたいと感じました。(新居浜・吉田)